

# 死亡診断書

この死亡診断書は、我が国の死因統計作成の資料としても用いられます。かい書で、できるだけ詳しく書いてください。

## 記入の注意

氏名	鳥居	①男 2女	生年月日	明治 昭和 大正 平成 21年9月11日 (生まれてから30日以内に死亡したときは生まれた時刻も書いてください。)	午前・午後 7時42分
死亡したとき	平成 21年 9月 12日		午前・午後 6時33分		
(12) 死亡したところ	死亡したところの種類 ①病院 2診療所 3老人保健施設 4助産所 5老人ホーム 6自宅 7その他				
(13) 及びその種別	死亡したところ 東京都三鷹市新川6丁目20番2号				
死亡の原因	(ア) 直接死因 新主因怪死		発病(発症) 22時51分		
◆I欄、II欄ともに疾患の終末期の状態としての心不全、呼吸不全等は書かないでください	I (イ) ㌦の原因	又は受傷から死亡までの期間			
	I (ウ) ㌦の原因	◆年、月、日等の単位で書いてください			
	I (エ) ㌦の原因	ただし、1日未満の場合は、時、分等の単位で書いてください			
	II 直接には死因に関係しないがI欄の傷病経過に影響を及ぼした傷病名等	(例:1年3か月、5時間20分)			
◆I欄では、最も死亡に影響を与えた傷病名を医学的因果関係の順番で書いてください	手術	①無 2有		手術年月日	平成 昭和 年 月 日
	解剖	①無 2有		主要所見	
◆I欄の傷病名の記載は各欄一つにしてください	部位及び主要所見				
	主要所見				
(15) 死因の種類	①病死及び自然死 外因死 不慮の外因死 { 2交通事故 3転倒・転落 4溺水 5煙、火災及び火焰による傷害 } 6窒息 7中毒 8その他 その他及び不詳の外因死 9自殺 10他殺 11その他及び不詳の外因 12不詳の死				
(16) 外因死の追加事項	傷害が発生したとき	平成・昭和 年 月 日 午前・午後 時 分	傷害が発生したところ	都道府県 市区町村	
	傷害が発生したところの種類	1住居 2工場及び建築現場 3道路 4その他( )		市 郡 町村	
◆伝聞又は推定情報の場合でも書いてください	手段及び状況				
(17) 生後1年未満で病死した場合の追加事項	出生時体重	2660グラム	単胎・多胎の別	①単胎 2多胎( 子中第 子)	妊娠週数
	妊娠・分娩時における母体の病態又は異状	母の生年月日		前回までの妊娠の結果	
①無 2有	3不詳		平成 57年 3月 29日	出生児 0人 死産児 0胎 (妊娠満22週以降に限る)	
(18) その他特に付言すべきことがら	上記のとおり診断する				
(19) 病院、診療所若しくは老人保健施設等の名称及び所在地又は医師の住所	〒181 東京都三鷹市新川6丁目20番2号		電話(0422)47-5511		
	杏林大学医学部付属病院		山下 裕子		

生年月日が不詳の場合は、推定年齢をカッコを付して書いてください。

夜12時は「午前0時」、昼の12は「午後0時」と書いてください。

「老人ホーム」は、養護老人ホーム、特別養護老人ホーム、軽費老人ホーム及び有料老人ホームをいいます。

傷病名は、日本語で書いてください。I欄では、各傷病について発病の型(例:急性)、病因(例:病原体名)、部位(例:胃噴門部がん)、性状(例:病理組織型)等もできるだけ書いてください。

妊娠中の死亡の場合は「妊娠満何週」、また、分娩中の死亡の場合は「妊娠満何週の分娩中」と書いてください。

産後42日未満の死亡の場合は「妊娠満何週産後満何日」と書いてください。

I欄及びII欄に関係した手術について、術式又はその診断名と関連のある所見等を書いてください。紹介状や伝聞等による情報についてもカッコを付して書いてください。

「2交通事故」は、事故発生からの期間にかかわらず、その事故による死亡が該当します。「5煙、火災及び火焰による傷害」は、火災による一酸化炭素中毒、窒息等も含まれます。

「1住居」とは、住宅、庭等をいい、老人ホーム等の居住施設は含まれません。

傷害がどのような状況でおこったかを具体的に書いてください。

妊娠週数は、最終月経、基礎体温、超音波計測等により推定し、できるだけ正確に書いてください。

母子健康手帳等を参考に書いてください。